

なすしおばら ボランティアセンター情報誌

令和5年9月20日号

《元気あっぴ夏祭り》開催！！



「まちなか交流センターくるる」で「舞の会」主催の「元気あっぴ夏祭り」が行われました。
(2ページに関連記事掲載)

元気あっぷ夏祭り



～暑さに負けず元気に盛り上がりました

セミの鳴き声が響き渡る8月5日(土)、「まちなか交流センターくるる」にて、「舞の会」主催による「元気あっぷ夏祭り」が行われました。出演者は「三味線津軽会」、「那須音頭保存会」(民舞)、「黒磯ハモニカ会」、「舞和会」(新舞踊)、「舞の会」(日舞)、「うすゆき草」(オカリナ演奏)の6団体です。会場は満席!待ちに待った来場者は、手拍子や懐かしの歌を口ずさんで参加していました。「舞の会」代表の藤間苑氏は「お客様に元気になってもらいたいのはもちろん、自分たちが楽しんで活動し、今後の活力にしていきたい」と意欲をみせていました。出演者たちの生き生きとした表情が印象深く、暑さを吹き飛ばす夏祭りでした。



和装文化伝承会 ～浴衣で涼やかな時間を～

7月26日(水)、「和装文化伝承会」が、石田坂・赤沼生きがいサロンで「浴衣着付け」を行いました。「和装文化伝承会」は、市や地域のイベント協力、学校(小・中・高)での家庭科(浴衣着装・和装文化)の出前授業を行っています。着付けの際の浴衣は全て準備され、参加者は、色とりどりの浴衣を心躍らせながら選びました。はじめに男女の浴衣の着付けには「おはしより」の有無など、多少の違いがあると説明されました。

いよいよ着付けがはじまると、「子どもが小さい時に着せた以来だなぁ」「帯はどう結ぶんだっけ?」「何年ぶりに着るだろう?」と、とても盛り上がりました。自分で着付けをし、帯締めをした後は、「素敵だね～涼しげで似合ってるよ～」と全員が気分上々でお互いの姿を見ていました。

おわりに、「浴衣」と言われる由来や、浴衣のたたみ方を学び、楽しい時間は終了となりました。

★皆さんも浴衣を自分で着ておでかけしませんか★



豆知識♪

「『浴衣』名前の由来」

平安時代には湯帷^{ゆかたびら}平^へといって入浴時(蒸し風呂)に高貴な人のみが身に着けられる汗取りとして使われていました。(白っぽい麻)その後、江戸時代に銭湯が浸透し庶民が風呂上りに着るものとして浴衣(ゆかたびら→ゆかた)と言われるようになったそうです。



▲「浴衣」の名前の由来を説明する
「和装文化伝承会」のみなさん



託児ボランティアが大活躍！

託児ボランティアは、子育て中の方が講座や研修会などの学習活動や社会参加がしやすい環境をつくるために、一時的にお子さんを預かりお世話することを目的として活動しています。



▲個人ボランティアと
「よもぎの会」のみなさん。

7月1日（土）フリーアナウンサー笠井信輔さんによる「教育講演会」が大正堂みるひいホールで開催され、この日4名のボランティアが活動しました。子ども達が入ってくると笑顔で「こんにちは！」と明るくあいさつで迎えました。おもちゃ遊びやDVD鑑賞をしながら1才～6才までの8名を温かく安全にお世話しました。講演を聴く保護者の方たちは集中して学べたようです♪



東那須野公民館「親子ふれあい講座『だっこ！』」が7月6日（木）に開催され、8名の託児ボランティアが活躍しました。「お友だちと一緒に遊ぼう♪」と手を取り部屋に迎えました。ママを追って泣いてしまった幼児もいましたが、すぐに慣れて遊びだしました。ボランティアの抱っこで眠ってしまう子もいたり……。最後には笑顔でバイバイをして終了となりました。



▲個人ボランティアのみなさんです。熱心に打合せをしている様子です。



▲16名の1才～2才の幼児をお預かりしました。すっかり仲良しです♪



元保育士、子育て経験者や子どもが好きな方などが、ボランティアとして活躍しています。託児ボランティアに興味、関心のある方は、ボランティアセンターまでお気軽にお問い合わせください。

おはなし三度笠

～さわやかなすしおばら館で歌や踊りを披露～

8月9日（水）、ボランティアグループの「おはなし三度笠」とその仲間が、「さわやかなすしおばら館」（高齢者施設）で歌や踊りを披露しました。

お揃いの着物を身にまとった踊り手が登場し、那須音頭の踊りから始まり、大東京音頭と続けて華麗な踊りを披露しました。次に、ギター漫談で笑いを誘い、藤山一郎の「影を慕いて」、美空ひばりの「悲しい酒」を歌い、聴いている方の中には、歌を懐かしみながら口ずさんでいる方もいました。歌の後には、衣装を替えた踊り手たちが登場し、「夜祭り囃子」を両手に持った鳴子でリズムを刻みながら踊りました。次に「バハマ・ママ」のノリのよいリズムに合わせて、軽快なステップの踊りも披露しました。最後は、「サザエさん」の曲で手や体を動かして楽しみました。盛りだくさんの内容で、見ている皆さんに楽しんでいただくことができました。



新型コロナウイルスの影響により、ボランティアの受け入れを中止していた施設などで、そろそろ活動の受け入れを再開していこうとお考えでしたら、お近くのボランティアセンターまでご相談ください。



第1回ボランティア交流会



～広げよう交流の輪！～



ボランティア同士の交流や、つながりの輪をつくる場として7月24日（月）、30名が集まり、東那須野公民館で「令和5年度第1回ボランティア交流会」を開催しました。

グループ交流と全体交流の時間を設けて話し合い活動をしました。グループ交流では、自己紹介を兼ねてフリートークや情報交換を行いました。様々な活動をする方が集まり、活発な意見交換の時間となりました。

その後の全体交流では、各々の活動、これからのボランティア活動についての思いなどを発表し、質疑応答も盛況でした。

交流会を通して初めて会った参加者同士が意気投合する場面も見られ、全員が笑顔で充実した時間を過ごすことができました。参加者は「このような会で人と会えることが本当に嬉しい。また開催してほしい」と話していました。



▼ボランティア活動への思いを発表しました！





那須塩原市聴覚障害者協会

～ろう者・聴者共に交流を深める～



8月20日（日）那須塩原市聴覚障害者協会主催の「ミニ運動会」がいきいきふれあいセンター多目的ホールで開催されました。「暑い中ですが、参加者同士交流し、運動会を楽しんでください」と鈴木弘義会長があいさつしました。

会員のほか、ボランティアや家族など、集まった参加者たちで5チームをつくり、「傘玉入れ」などの競技で熱い戦いが繰り広げられました。手話ができなくても多様なコミュニケーションの方法で仲間同士でアドバイスや応援をして、活気のある運動会でした。参加者は、「また会いましょう」と手話やジェスチャーで表現し、笑顔で閉会となりました。

優勝は「ひとかげチーム」でした！



▲ひとかげ・いずみ・そら・ダイヤモンド・ひまわりチーム



シルバー大学校黒磯同窓会

～園児との交流を楽しむ～



▲参加したシルバー大学校黒磯同窓会のみなさん。

植えた花は「にちにちそう日日草」。花言葉は「楽しい思い出」です。

「よろしくおねがいします！！」なべかけ保育園ひまわり組(年長)の元気なあいさつをスタートに、8月31日(木)シルバー大学校黒磯同窓会が園児とのふれあい交流を行いました。はじめに全員で花植えをしました。「ぼくお家でもやってるよ！見てて！」と話す園児に「すごいね！」と会話ははずみました。その後、園児がおゆうぎを披露し一生懸命踊る姿を目を細めながら見ていました。次はお待ちかねのマジックです。目の前で見る不思議な出来事に、園児たちは大喜び。「えー！なんでー？」と無邪気な姿に癒されていました。終わりに園児からシルバー大学校のみなさんへ手作りのメダルがプレゼントされました。「みんな、ありがとう。楽しかったかな？元気でね」とあいさつを交し終了となりました。

参加者たちは「本当に楽しかった。開催できて良かった」と笑顔で話しました。



令和5年度 夏休み！親子ボランティア体験教室 盲導犬体験教室

7月30日（日）、本会主催の親子ボランティア体験教室を開催しました。この事業は、福祉やボランティア活動へのきっかけづくりを目的として毎年行っています。

東日本盲導犬協会から講師を招き、午前午後の2部制で盲導犬体験教室を行い、市内の小学4～6年生の親子が参加しました。盲導犬や視覚障害について学び、訓練実演を見学しました。参加した小学生は、アイマスクを着けて、盲導犬との歩行も体験しました。最後に、盲導犬とのふれあいもでき、夏休みの貴重な体験の一つになったと思います。



中学生・高校生ボランティアサマースクール開講！

那須塩原市内に在住、在学する中学生、高校生を対象に、本会主催のボランティアサマースクールを8/3(木)、8/7(月)の2日間開講。総勢42名の中学生・高校生が参加しました。

8月3日（木）★認知症サポーター養成講座

地域包括支援センターとちのみ及び西那須野西部地域包括支援センターの職員の皆さんによる認知症サポーター養成講座を行いました。この日は中高生8名が参加。このなかで認知症の基礎知識や当事者とのかわり方を講義や寸劇で分かりやすく学ぶことができました。「認知症のある方への対応方法をより深く理解することができた」と受講生から感想があり、今後の活動に活かしてもらえる講座になりました。



8月7日（月）★手話でできる支援って？

～手話を通して障がいへの理解を深める～

この日は、特定非営利法人栃木県北地区手話通訳派遣協会の大場理事長を講師に迎え、手話を通して障がいへの理解を図る内容の講座を行いました。受講生34名。講座開始とともに、講師と受講生は手話のみでコミュニケーション。最初は手話が分からなく緊張し戸惑っていた受講生も、徐々に手話での会話を理解できた様子で、手話で返事をするしぐさも多く見られました。後半は、障がい者支援に必要な知識を学び、受講生からは「手話のみを覚えるのではなく、相手への理解がとても大切なことが分かった」との感想を聞くことができました。

イベント情報



3年ぶり
現地開催!!

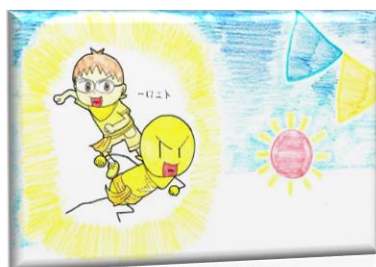
第42回ふれあい広場

～ ハンディのある人・ない人、子どももお年寄りも
全ての人々が理解し合える、仲間となれるイベント ～

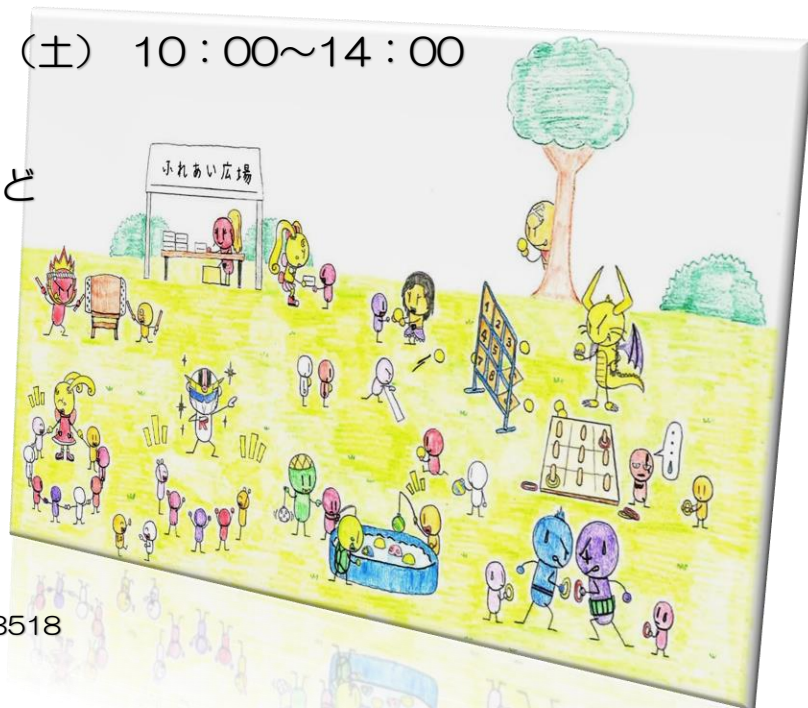
日時：令和5年9月30日（土） 10：00～14：00

場所：黒磯公園

内容：模擬店・ステージなど



問合せ：那須塩原市社会福祉協議会黒磯支所
TEL 0287-63-3868 FAX0287-63-3518



第一回らくらく祭

世代を超えてつながる

日時：10月7日（土） 10時00分～14時00分 ※雨天決行

場所：らくらくオアシス

内容：食券は当日9時30分～販売、引き換えは10時00分になります！

《出 店》 食べ物、その他販売

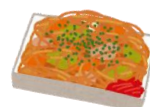
《施設内》 体験運動(無料!)など

《遊 び》 バルーンアート、手品

《催し物》 各団体の発表

問い合わせ先

労働者協同組合労協センター事業団
那須塩原市地域福祉事業所らくらくオアシス・らくらくサポートセンター
〒329-3147 那須塩原市東小屋 353-1
Tel:0287-74-3663 Fax:0287-74-3662



ボランティア活動実績

7月	イベント他	7件	42人	8月	イベント他	7件	46人
	傾聴	11件	11人		傾聴	6件	6人
	福祉体験	6件	26人		福祉体験	0件	0人
	合計	24件	79人		合計	13件	52人

ボランティアセンター登録数（8月31日現在）

団体	個人
106団体（非公開含む）	94人

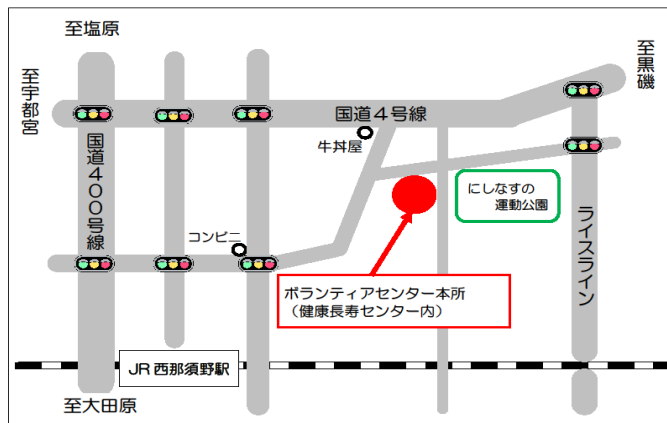


地域共生社会振興基金寄付者（令和4年9月1日～令和5年8月31日）

地域共生社会振興基金は、地域共生社会の実現のため、那須塩原市社会福祉協議会が設置している基金です。

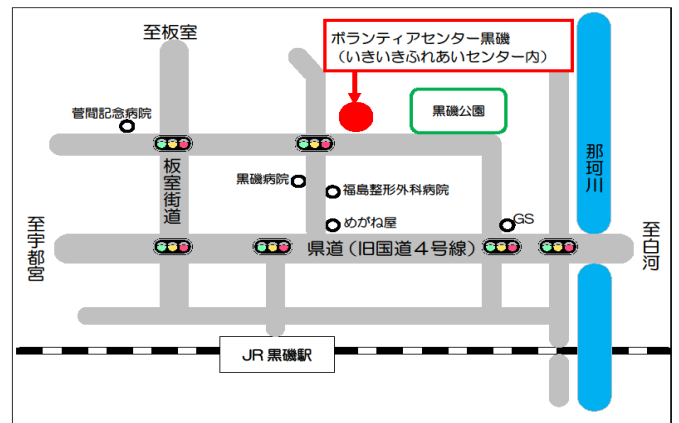
- ・那須塩原管工事業協同組合 ・北関東環境開発株式会社 ・塩原温泉観光協会
- ・湯ったり宿 松楓楼 松屋 ・一般社団法人那須塩原市建設業協会 ・有限会社三誠 なすの斎場
- ・クリーニングおおもり ・那須野ヶ原ライオンズクラブ ・大栄建材株式会社 ・株式会社 Shikano
- ・有限会社白塩舎 ・菊池産業株式会社 ・株式会社愛・ジャパン ・有限会社小阪製作所
- ・株式会社クワバラ・パンぷキン ・ふるさとになす産直会

【ボランティアセンター本所】



住所：那須塩原市南郷屋5-163
健康長寿センター内
電話：0287-47-6700
FAX：0287-47-6690
Eメール：v.center@ns-shakyou.jp

【ボランティアセンター黒磯】



住所：那須塩原市桜町1-5
いきいきふれあいセンター内
電話：0287-73-0073
FAX：0287-73-0073
Eメール：k.vcenter@ns-shakyou.jp

発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会

ボランティアセンター黒磯 TEL 0287-73-0073 FAX 0287-73-0073

〒325-0042 那須塩原市桜町1-5（いきいきふれあいセンター内）

Eメールアドレス k.vcenter@ns-shakyou.jp

ホームページアドレス <http://ns-shakyou.jp/>

★メール、FAX、お電話で皆さまの感想や情報をお寄せください。



【QRコード】



▲ボランティア
センター情報誌



▲那須塩原市社協
フェイスブック